

令和8年3月25日

保護者様

京都市立上賀茂幼稚園
園長 村山 得太郎

幼稚園評価の結果について

春分の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。先週、修了式ではゆり組20名が巣立っていきました。すごく成長を実感できる素晴らしい修了式でした。幼稚園で培った力を小学校で発揮してほしいと思います。また、ばら組も参列の態度が素晴らしく、先輩への敬意が伝わってきました。4月からはゆり組としてまた一段と活躍してほしいと思います。

さて、生活発表会後に実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございます。分析につきましては、学校運営協議会の皆様にもご意見を頂戴しました。アンケート結果や記述のご意見を参考にし、保育の充実を図り、子育て支援を通して園児数の増加を目指して取り組んでいきたいと思っております。

【全体的な傾向】

◆AまたはBの評価が多くみられます。子どもたちが家庭での安定した生活を基盤に幼稚園での遊びを楽しんでいる様子が見えられます。

【A評価だけが増えた項目】

- ④友達とのかかわりを大切にする。
- ⑭思いを受け止め寄り添う。
- ⑳地域や地域の人に親しみを持っている。

【C評価だけが増えた項目】

- ⑧健康面や安全面に注意を払っている。

【A評価もC評価も増えた項目】

- ③生き物や植物などを大切にする。
- ⑥諦めずに取り組んでいる。
- ⑯自分できるように声かけしている。
- ⑲地域の方と行事や取組でよく関わっていると思う。

まず、C評価のみが増えた⑧ですが、「厳寒の日にアウターや手袋の着用を自分で判断させてほしい」とのことでした。これからも子どもの意見も聞きながら、健康面、安全面に注意して指導していきたいと思っております。

次にA評価のみが増えた項目ですが、④はお友だちとの関係性が深まっている様子がおうちの方にも発表会などを通して分かりやすかったのではないかと思います。実際に関係性はどんどん深まってきていると思います。⑭はおうちでの様子なので推測の域を出ませんが、子どもたちとおうちの方との関係性がとても温かく、十分に甘えられていると感じています。子どもたちの気持ちが安定しているのもおうちでの雰囲気や子どもがのびのびとできている原因ではないかと思います。⑳については、園外保育での引率補助や大根抜きなどでお世話になっているので親しみを持つようになってきたと思っております。

最後にA評価もC評価も増えた項目では、③は、子どもたち一人ひとりの違いが出ています。全体的に虫が大好きでよく遊んでいるように見えますが、中にはあまり得意ではない子もいます。でも、大切にしていける気持ちは誰もがもっていて、幼稚園で花や虫



などを大切に扱わない子はいません。⑥についても一人一人の違いとおうちの方の見方のちがいによるものと思います。幼稚園では、嫌なこと、やりたくないことも当然ありますが、教職員の粘り強い指導と子ども同士でも刺激があり、だんだんとできてくるようになってきています。また、D評価がいなくなったのも、成長をうかがわせませす。⑩もおうちの方の自己評価ですので、おうちでの様子はわかりませんが、「自分でしましょう」と声をかけて、時間に余裕があれば、待ったりできるのですが、時間がないときには大人がやってしまうこともあると思います。子どもたちの成長に合わせて自分ですること、できることが増えてくると思います。⑪については、地域の方にお世話になっている行事もありますが、保護者の方の思いがそれぞれ違うということだと思ひます。年間を通して、大きな行事とその取組を優先させ、単発的に入ってくる行事との兼ね合いを考え、子どもたちの体験からの表現などを大切にしながら、保育を充実させるための、また、子どもたちの成長のための計画を立てていきたいと思ひています。

◆自由記述欄につきまして、様々なご意見・ご質問ありがとうございました。全体的な傾向をまとめると以下ようになります。

①園生活への満足度は非常に高いようです。

②友達・先生との関係性が、子どもの 成長・自信・安心感につながっているようです。

③生活発表会は、多くの家庭にとって 子どもの成長を実感する象徴的な行事になったようです。

④先生への感謝の声が圧倒的に多い一方、情報共有や写真・行事案内に関する改善希望もいくつか見られますが、実現が可能かどうかを検討し、今後の参考にさせていただきます。

★学校評価を行う理由（京都市教育委員会ホームページより）…社会情勢や子どもを取りまく環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々が子どもを育む当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることが不可欠です。「学校評価」は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。